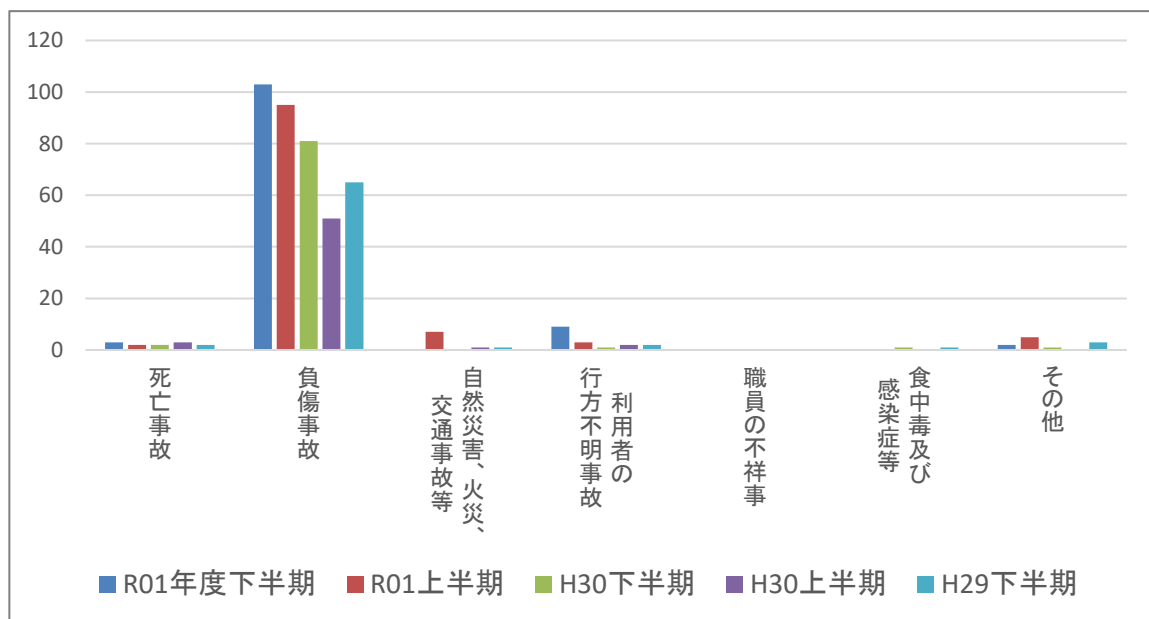


令和元年度下半期分(※)事故報告について

※ 令和元年10月1日から令和2年3月31日までの間に速報を受理した事故報告について集計を行ったものです

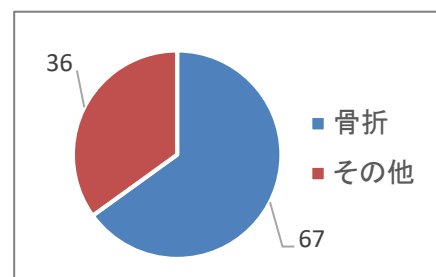
1 事故の種別

	死亡事故	負傷事故	自然災害、火災、 交通事故等	利用者 の 行方不明事故	職員 の 不祥事	食中毒及び 感染症等	その他	合計
R01年度下半期	3	103	0	9	0	0	2	117
R01上半期	2	95	7	3	0	0	5	112
H30下半期	2	81	0	1	0	1	1	86
H30上半期	3	51	1	2	0	0	0	57
H29下半期	2	65	1	2	0	1	3	74



令和元年度下半期の事故報告件数は、前期に引き続き報告件数が伸びていますが、運営推進会議等で事故報告書の提出を地道に促した結果によるものと考えられます。

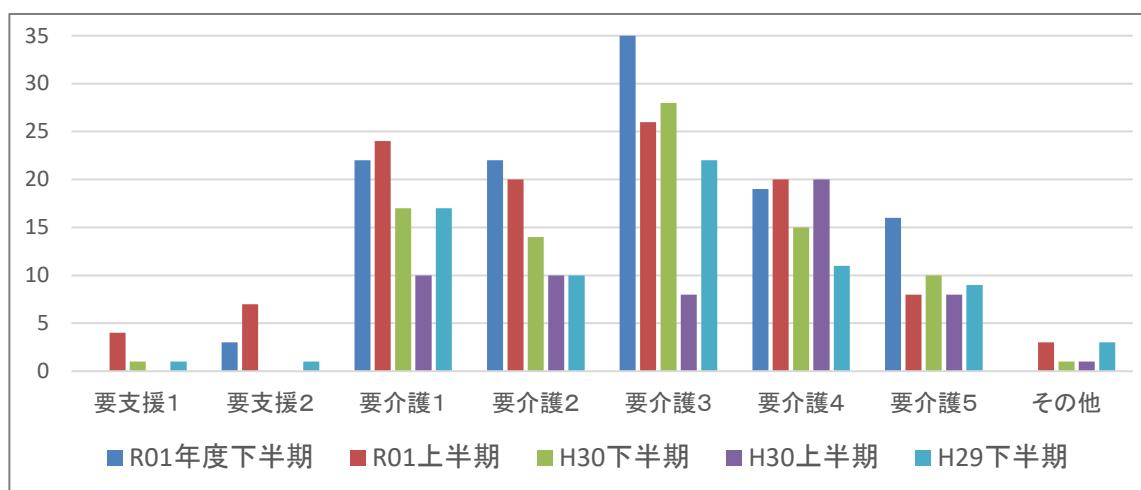
令和元年度下半期の負傷事故(103件)の内訳は、骨折が67件であり、全体の約3分の2を占めています。この割合はこの4期ほど大きな変動はありません。



死亡事故のうち2件が誤嚥による窒息によるもので、昨年度に引き続き誤嚥による窒息が大きな原因となっています。また、死亡事故に至らなかった窒息事故が4件発生しており、サービス種別を問わず食事提供時には一層の注意を行うよう、啓発を行っていきます。

2 要介護度別事故発生件数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
R01年度下半期	0	3	22	22	35	19	16	0	117
R01上半期	4	7	24	20	26	20	8	3	112
H30下半期	1	0	17	14	28	15	10	1	86
H30上半期	0	0	10	10	8	20	8	1	57
H29下半期	1	1	17	10	22	11	9	3	74



3 事故発生サービス種別と時間帯

サービス種別	件数
通所介護／通所リハビリテーション	17
短期入所生活介護／短期入所療養介護	18
特定施設入居者生活介護	5
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	38
介護老人保健施設	15
認知症対応型共同生活介護	22
小規模多機能型居宅介護／看護小規模多機能型居宅介護	2
その他	0
(合計) ※サービスには予防も含む	117

	宿泊系	訪問・通所系	合計
早朝 (6:00～8:00)	15	0	15
日中 (8:00～18:00)	50	19	69
夜間 (18:00～22:00)	18	0	18
深夜 (22:00～6:00)	15	0	15
(合計)	98	19	117

令和元年度下半期では行方不明事故が前期に比べ大幅に増えていますが、訪問・通所系、宿泊系いずれのサービスでも日中の時間で発生しています。職員数が比較的充足している時間帯であっても、なお一層の離脱事故への注意が必要です。